

平成 30 年度研究助成金交付先一覧表

◆ (1 件 50 万円×19 件= 計 950 万円)

助成	所 属 (申請時)	研 究 者	研究テーマ
4 年目	富山大学大学院医学薬学研究部 (薬学)	矢倉 隆之	グリーンケミストリーを指向した新規触媒の開発と応用
4 年目	京都薬科大学 生薬学分野	中村 誠宏	メディシナルフラワーを素材とした生体機能性成分の探索
4 年目	東京薬科大学 薬学部	矢内 光	強酸性炭素酸とその共役塩基に着目した新触媒の開発
4 年目	首都大学東京 都市教養学部 理工学系生命科学コース	安藤 香奈絵	神経細胞内ミトコンドリアの局在制御とその破綻による神経変性のメカニズム
4 年目	滋賀医科大学 薬理学	今村 武史	糖尿病病態因子による幹細胞障害の同定と治療法の試み
3 年目	金沢大学医薬保健研究域薬学系 薬理学研究室	金田 勝幸	ストレスによる薬物依存症再燃メカニズムの解明
3 年目	慶應義塾大学薬学部	大江 知之	肝障害を有する医薬品の代謝活性化機構の解明とそれを基盤にした低毒性医薬品の創製
3 年目	静岡県立大学食品栄養科学部	増田 修一	ブドウ球菌毒素が誘導するスーパー抗原活性に対する植物由来成分および生薬による制御機構の網羅的解析
3 年目	香川大学医学部薬理学	西山 成	生活習慣病に対する新しい診断治療法の開発
3 年目	埼玉大学大学院理工学研究科	松岡 浩司	超高感度蛍光共鳴エネルギー移動による定量的バイオセンシングを可能とする新しい糖鎖高分子の創出
2 年目	名城大学薬学部	北垣 伸治	シクロファンを面不斉を利用した新規触媒の開発
2 年目	大阪大学大学院工学研究科	鳶巢 守	生理活性分子の直接変換を指向した不活性結合の触媒的変換法の開発
2 年目	帝京大学薬学部	高橋 秀依	軸不斉を活かした医薬品の分子設計・高活性化化合物の創製
2 年目	国立研究開発法人医薬基盤・ 健康・栄養研究所	岡 正啓	細胞核輸送ネットワークと高次生命機能
2 年目	近畿大学薬学部	田邊 元三	サラシノールをシードとする高活性スルホニウム塩型食後過血糖改善薬の合成と活性評価
新規	岡山大学大学院医歯薬学総合 研究科	井上 剛	電気生理技術を用いた難治性神経疾患の創薬標的分子の同定
新規	同志社女子大学薬学部	前川 京子	メタボローム解析による多発性骨髄腫の治療効果・有害事象発現を予測するバイオマーカーの探索研究
新規	京都薬科大学 病態薬科学系 臨床薬理学分野	鳥羽 裕恵	慢性腎臓病増悪因子としての細胞外マトリックスの役割
新規	慶應義塾大学薬学部	登美 斉俊	胎盤関門透過の種差を生み出す機能分子の同定とその機能調節機構の解明

◆ 特別研究助成 (1 件 250 万円×4 件 = 計 1,000 万円)

助成	所 属 (申請時)	研 究 者 名	研究テーマ
2 年目 第 1 位	京都大学大学院 薬学研究科 薬品有機製造学分野	大野 浩章	低分子・中分子創薬を加速する革新的骨格構築法の開発と応用
2 年目 第 2 位	大阪大学大学院薬学研究科 天然物化学分野	古徳 直之	統合的戦略に基づく新規 PPI 阻害剤の創製
新規 第 1 位	大阪大学大学院医学系研究科神 経遺伝子学	宮崎 雄	神経変性疾患の RAN 病態に基づく新規治療標的の探索
新規 第 2 位	滋賀医科大学 神経難病研究セ ンター	森 雅樹	小児脳難病の病態解析によって発見された若年脳遺伝子を用いた遺伝子治療の実現

以上